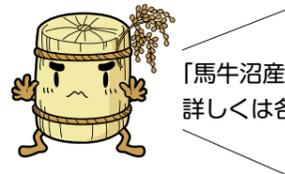


白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん!  
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253



「馬牛沼産直センター」、「小十郎の郷」、「羽山朝採り市」で「白石産米」を取り扱い中!  
詳しくは各直売所に問い合わせをください。

●1月の人気農産物

ホウレンソウ、キャベツ、セリ、ネギ、干し柿、アサツキ など



クラブいち  
バーバ工愛市

- ①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい  
1月20日(水)から営業 毎週水曜日9:30～12:00  
バーバ工愛市のオレンジ色のぼり旗が目印。営業初日は初売りプレゼントを用意しています!  
※営業時間変更は2月末まで。
- ②JAみやぎ仙南福岡支店構内店(旧あぐりハウス白石)  
3月から営業を再開します!  
☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

青葉市直売所

- 月1回の「サービスデー」(定期市)を好評開催中! 月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、好きな新鮮野菜1点をサービスします。  
※今月はポーチパーク(土曜日)のみ営業します。
- ①ポーチパーク内 1月23日(土)から営業 毎週土曜日9:00～12:00
  - ②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 2月17日(水)から営業
  - ③いきいきプラザ 4月16日(土)から営業  
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。  
☎佐藤よし子 ☎25-8860

小原いきいき直売所 3月まで冬季休業

4月から営業を再開します!

軽トラ市 1月8日(金)から営業

- 毎週金曜日9:00～12:00
- 場所 すまいるひろば
  - ☎四電 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

羽山朝採り市 1月23日(土)から営業

- 毎週土曜日9:00～12:00
- 場所 犬卒都婆公会堂前
  - ☎小畑胖 ☎27-2236

馬牛沼産直センター 1月5日(火)から営業

- 毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00  
斎川の特産「斎川凍豆腐」やころ柿のほか、毎年好評の手作り切り餅などを販売しています。  
1月5日(火)の初売りでは、恒例のお買い上げ抽選会を開催! 皆さんぜひお越しください。
- 場所 国道4号沿い馬牛沼付近
  - ☎馬牛沼産直センター ☎25-0520



小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

- 9:00～18:00 年末年始を除いて毎日営業!  
1月5日(火)の12時から、初売り企画恒例の「小十郎の郷・新年もちつき大会」を開催します(なくなり次第終了します)。  
また、1月30日(土)～31日(日)に「節分祭」を開催します。落花生の詰め放題(有料)や9時30分から自家製甘酒の振る舞いを行います(無料、なくなり次第終了)。  
※12月31日(木)から1月4日(月)まではお休みします。
- 場所 JAみやぎ仙南白石地区営農センター構内(福岡長袋字八斗蒔)
  - ☎小十郎の郷 ☎22-0881
  - http://www.kojuro-sato.com



※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。  
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

暮れてゆく冬の稜線たかくひくく住み処に帰る大蛇と見ゆる 高橋 政男  
地下足袋に袴纏姿があつまりて柙呑みたる 門脇 貞造  
酒屋今はなし 遠藤 舞  
晩秋をニラ玉つくつておでん鍋「あ節だね」  
と家族よるこぼす 佐藤 喜和子  
齢かさね日毎つかれを覚ゆれど今日も畑でこ  
となく終わる 佐藤 喜和子  
足腰の痛みと共に暮らす日日生の証しと思  
なげらるる 菅野 ちさよ  
食べらるると知りて試すは零余子 飯舌にやさ  
しよ素朴なる味 末吉アツ子  
蒲・芒休耕田に繁くして小春日の午後綿毛を  
とばす 佐藤 啓子  
羽音たてず菊にむらがるスガリらを刺激せぬ  
ようそつと水遣る 寺崎 悦子  
看護師さんはさすがプロなり血管の細きは言  
えど点滴をなす 大庭美智子  
その昔字舎に歌いし明治節のうた友らと偲ぶ  
文化の日なり 山田 濱

【評】一首目、和語「たかくひくく」がいい。ふるさとと山やまの起伏に、ロマンを覚えたのだ。助詞の「と」は、たとえる働き。  
二首目、作者は戦前の思い出を記録。白石町と称された頃の夕景の一つを記録。  
三首目、ささやかな幸せを、大切なものとして具体的に詠う。

俳壇

山家 弘子 選

紅葉且つ散るや祠の千羽鶴 服部 忠孝  
住む人の絶えし古家や花八つ手 岩澤 伍峯  
ひたすらに皮剥く日々や吊し柿 沼田 営火  
小原路の飽きることなき山紅葉 高子うぶん  
県境を越せば阿武隈霧深し 門脇 貞造  
最終の電車の窓に秋の月 貞造

柳壇

四電 英夫 選

地球から戦ない国日々祈る 草野 清  
国民の不安集めてマイナンパー 大庭美智子  
増えていくお金でないよ診察券 安藤 聡  
五郎丸ボーズ真似する未来の子 末吉アツ子  
足腰と心も鍛え歳に勝つ 佐藤 啓子  
校庭に雀たわむれ進む過疎 村上 照夫  
水清き城下沢端鯉群れる 星 明  
一斉のクリーン作戦みかく街 遠藤 舞  
長生きも楽じゃなこと知らされる 高子よこん  
ありがたや初日を拝む姥一人 制野 リエ

【評】一句目、同時テロや旅客機爆撃等々、震撼させる事件が多発。宗教・人種・思想・貧富の格差等々。事件の深層は窺い知れない。  
二句目、一億総背番号。国家による管理体制が出来上がった。「無駄な抵抗は止せ。君たちは完全に包囲されている」というところか。  
三句目、歳とともに診察料が増え、診察券も増える。そして待ち時間も増える。「二時間も待って診察5分だけ」ということにも。

～「ともだち」「夢」への思いを川柳に込めて～  
平成27年度「ほのぼの川柳コンクール」の入選作品が決定しました!



1\_市長賞を受賞した皆川智大さん 2\_受賞者の皆さんと審査委員長の四電英夫さん(左)

12月7日、男女共同参画社会づくりに関する「ほのぼの川柳コンクール」の表彰式を市役所で行いました。今回は「ともだち」「夢」がテーマ。10回目を迎えた今回は、過去最高の352人から858句の応募がありました。審査の結果、10名の作品が入選。さらに、入選作品の中から皆川智大さん(白石第二小5年)の作品が市長賞を受賞しました。入選作品を含む応募作品は、1月14日(木)～28日(木)まで、ふれあいプラザ2階ホールに展示します。

●市長賞作品(敬称略)  
『かなうかな ほくの目標 お父さん』 皆川 智大

●入選作品(敬称略)  
『さりげなく 手をさしのべる 友がいる』 金子 忠政  
『あこがれが 私を導く 夢の道』 矢久保寛菜  
『料理する 夫の姿 これ夢か』 武田 秀作  
『語らいは 家族の輪であり 夢であり』 熱海 咲代  
『ほくの夢 元気に長生き これ一番』 狩野 陸人  
『帰り道 夕日にそまる かげみつつ』 我妻ほのか  
『老いてなお 二人の夢は まだ一杯』 湯川 雅巳  
『じいちゃんと 約束をした あととりの』 大概 右柳  
『ほくのゆめ いつかママを 治したい』 與名本旋冬